



赤旗 読者通信 改題

2009.7.19
通巻No. 970

日本共産党
小矢部市委員会

市内七社 245
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

党市政務委員長
石山忠義
Tel 67-3525

党県政対策委員
上田ゆみ子
Tel 68-2106

禁無断転載
複写配布

開く 試写会 「鶴彬 こころの軌跡」

本上映は9月5日(土)

上映時間 午前11時
午後2時
午後7時

場所 小矢部市総合会館大ホール

入場料 1000円

反戦川柳作家 鶴彬の作品 万歳とあげて行った手を大陸へおいて来た 手と足をもいだ丸太にしてかえし 胎内の動き知るころ骨(こつ)がつき

上映実行委員会の発足

映画「鶴彬 こころの軌跡」の試写会が7月12日、小矢部市総合会館で開かれました。憲法をまもる小矢部の会が上映運動を呼びかけたもので、約30名が集まり、同日その上映実行委員会がつけられました。

鶴彬とは

鶴彬(つるあきら)は石川県高松町生まれの川柳作家で、本名を喜多一二(きたかづじ)といいます。昭和初期、日本の中国侵略戦争が開始された頃、反戦の川柳をたくさん作って、特高警察につかまり、牢獄で赤痢にかかり、29歳で死亡しました(1938年9月14日)

平和への思いを 多くの人に

試写会では、年配の参加者が感想を求められて「私は、戦争は絶対反対だ。戦争は武器を持った兵隊だけが殺し合うものではない。富山の空襲の後、幼い子どもらの焼け死んだたくさんさんの遺体を片付けた体験をしたが、戦争とは一般市民をも巻き込むひどいものだ。」と言われました。
上映実行委員会では、この映画を多くの方々に観ていただき、平和のために生き抜いた詩人の魂をしっかりと受け継ぐ運動にしていきたいと呼びかけています。

「新しい歴史教科書をつくる会」の教科書 「中学校で使わないで」

小矢部平和委員会が教委に申し入れ

いまま年度の中学校教科書の採択に向け、小矢部市でも岩尾滝の教育センターで教科書が展示されており、学校関係者や一般市民が訪れています。

小矢部平和委員会は閲覧した

委員の感想をまとめ、7月1日、市の教育委員会に対して自由出版および扶桑社版の公民と歴史の教科書を採用しないように申し入れました。

農外企業の参入

6月議会

農地法が改悪され、年内に施行される予定ですが、農外企業による農地の貸借で産業廃棄物の埋め立てなど、農地としての不適切な利用があった場合にどうするのか、砂田市議は6月議会で質しました。

農地を守る 取り組みは?

砂田市議の再質問 農地法の問題で、市外の人、農外企業、東京の会社とか外資系の会社から農地を借りたいといってきた場合に、これは小矢部市の農地利用としてふさわしくないと判断されるのか。
この育成との整合性、あるいは農地の適切な利用を課すこととする。また、許可後においても農業委員会に農地の利用状況を定期的に報告させるとともに、耕作を行っていない等の不適切な利用が判明した場合には許可を取り消す。

家族農業経営など担い 手育成との整合を図る

産業建設部長 農外法人にも貸借による参入を拡大すると考えている。ただ農業委員会において許可をする要件として、地域における家族農業経営を含む担い手

侵略戦争を美化

明治憲法下の歴史を美化し、現行の日本国憲法を「改正」しようとする「新しい歴史教科書をつくる会」が4年前に扶桑社版「新しい歴史教科書」の大量の採択を目指しましたが0.4%にも満たない採択率にとどまり、会が分裂しました。扶桑社版教科書から飛び出した一派は、自由社版「新編 新しい歴史教科書」をつくり、その結果、二つのほぼ内容が同じ歴史教科書が今回の採択対象にふくまれています。

「大東亜戦争」とするなど侵略戦争を美化していること、国民一人ひとりが主権者であることが実に見えにくくされていること、などをあげ、「新しい歴史教科書をつくる会」の流れをくむ教科書は民主的で平和的な国民の育成には不適切、と指摘しています。